

## 【船橋版簡易 B C P 策定手引き】

### 1 概要

船橋版簡易 B C P 策定シートは、B C P の簡易版ひな形として作成しております。簡潔な内容となっているため、本手引き及び記入例を参考とし、B C P 策定の第一歩としてご使用ください。

より詳細な内容の B C P を策定する場合は、中小企業庁のホームページに掲載されている B C P 策定指針の初級編・中級編等のひな形等をご参考に作成ください。

なお、B C P は策定して終わりではなく、継続的に維持・改善する必要があります。また策定した B C P は、従業員等に周知し、災害時に対応ができるよう、日ごろから訓練も実施することが重要です。

船橋版簡易 B C P 策定シートが、事業者の皆様の効果的な B C P 策定の一助になれば幸いです。

### 2 地震版の記入要領

#### 【策定シート記入要領】

#### 1. 基本方針

- 店内のお客様、社員の人命を守ることと地域社会貢献は、どの企業であっても共通に重要であり、1と3は、記入例のような表現が一般的です。
- そして、2には、自社の事業にあわせて、災害時にも止められない、または早期に再開しなければならない中核事業は何かを考え、記入してください。

#### 2. 被害想定

- 被害を前提に対応を検討していただくため、被害が最大となると見込まれる千葉県北西部直下地震を想定し、地区別防災カルテを参考に建物等の被害状況やインフラの中断（電力・通信：3日間、交通：2週間、上水道：1か月以内）を記入してください。

#### 【策定シート記入例】

#### 1. 基本方針

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1 | 店内のお客様、社員（役員・従業員）の人命を守る  |
| 2 | 重要業務を継続しサプライチェーンの維持に貢献する |
| 3 | 地域社会の復興に貢献する             |

#### 2. 被害想定

想定地震 千葉県北西部直下地震 想定震度 6強

社会インフラの中断（電力・通信：3日間、交通：2週間、上水道1か月以内） 事務所半壊、工場半壊、設備の倒壊、80%の在庫・仕掛品の損壊

### 3. 対応責任者

- 「統括責任者」は、社長等企業の代表者が務めることが一般的です。
- 「本社機能維持担当」は、安否確認や安全確保等、大地震が発生した直後の対応実務全体を指揮する担当者です。総務部や管理部の長が務めることが一般的です。
- 「事業継続担当」は、優先事業の継続等、事業継続に関する対応実務を指揮する担当者です。製造業においては、製造部門の長が務めることが一般的です。

### 3. 対応責任者

統括責任者	全社的な意思決定を行い、対応全体を統括する。
	〇〇 社長 （代行者 ① 〇〇専務、 ② 〇〇常務 ）
本社機能維持担当	安否確認や安全確保等、本社機能の維持に関する実務を指揮する。
	総務部 〇〇 部長 （代行者 総務部 〇〇 次長 ）
事業継続担当	重要事業の継続に関する実務を指揮する。
	製造部 〇〇 部長 （代行者 製造部 〇〇 次長 ）

### 4. 優先事業、目標復旧時間

- B C Pを策定する際には、優先事業と目標復旧時間を定めることが大変重要です。
- 優先事業の選定及び目標復旧時間の設定を行います。
- 優先事業には、最も優先度の高い事業等、優先的に復旧すべき事業を記入してください。
- 目標復旧時間には、その事業が停止しても許される最大の期間を、顧客のニーズ等（要求される時間）を想定して記入してください（復旧可能時間ではありません。）。

優先事業	最重要顧客A社への製品Xの供給
目標復旧時間	1週間 (A社からの要請による)

### 5. 対応手順

#### (1) 大地震発生直後

- 「避難場所」には、避難の際に目的地とする場所を具体的に記入します。地域の防災マップの確認や当該施設の管理者への相談を通じて、その場所の安全性を確認する事が望ましいです（通常は公共の指定避難場所となります）。

基準	大きな揺れを感じたとき、火災の発生、建物の損壊
避難場所	屋外駐車場（津波の危険がある場合は津波避難経路を使って高台の〇〇公民館へ）

- 「救急搬送先」には、大規模災害発生時は救急車がすぐに到着できるわけではないことを念頭に、社員等が負傷した場合に搬送する医療施設を複数記入します。
- 夜間・休日の大地震の発生も想定し、「参集メンバー」には、初動対応フェーズや事業継続フェーズにおいて重要な役割を果たすメンバーを記入します。

救助・応急処置 道具の所在	総務部キャビネット3番
救急搬送先①	〇〇総合病院 (☎: 123-4444 )
救急搬送先②	〇〇第一病院 (☎: 123-5555 )
参集メンバー	統括責任者、本社機能維持担当、事業継続担当、各部の部長、システム担当者
参集場所	本社事務所 代替場所: 〇〇事務所

## (2) 初動対応フェーズ

- 「状況確認」では、本社機能維持担当の指揮の下に社内外の状況を確認する「担当者（部門）」として、具体的な人物（役職）または部門名を記入します。

確認対象	担当者（部門）
役員・従業員（家族含む）の安否	人事課 〇〇課長
建物・設備（IT含む）状況	総務課 〇〇課長
その他事業資産（在庫・原材料）状況	製造部 〇〇課長
顧客の状況	営業部 〇〇部長
取引先の状況	調達部 〇〇部長
社会インフラ（電力・通信・交通等）状況	総務課 〇〇主任
資金調達の対応	総務部 〇〇課長

- 「帰宅許可」の「基準」には、社員等の帰宅を許可する具体的な条件を記入してください。安全に帰宅できることが大前提となります。千葉県や船橋市からの指示に関する情報を収集し対応することになります。

基準	帰宅までのルートの安全が確認されており、日没までに徒歩帰宅が可能で、自治体から帰宅抑制要請が出されていないこと
対象者	主任以下の従業員のうち、状況確認・事業継続に重要な役割を持たない者（帰宅ルートの安全が確保できない者・体調不良者は除く）
留意点	・帰宅時に水、食料を持たせる ・帰宅後、安否状況を報告させる

- 「備蓄品の状況」欄は、飲料水（1人1日3ℓ）と食料は、最低3日分、できれば7日分を準備します。

品名	数量	品名	数量
ヘルメット	70 個	乾電池	20 本
飲料水※	630 L	トイレトーパー	70 個
食料※	630 食	ガムテープ	10 個
毛布	70 枚	非常用発電機	1 機
救急箱	3 箱	携帯ラジオ	3 台
救助用工具	2 セット	懐中電灯	20 台
簡易トイレ	800 回		

### (3) 事業継続フェーズ

対応戦略	提携先のB製造㈱（〇〇県〇〇市）に代替生産を依頼する	資源の脆弱性 (ボトルネック)	C化学（〇〇市）から仕入れている材料Yの調達
対応手順	被災工場・設備の復旧に1か月かかる見込みの場合		
<p>I. 製品供給</p> <p>①顧客A社への連絡（代替生産方針、出荷可能在庫数量、供給再開目安等）【営業部】</p> <p>②B製造への代替生産【製造部・調達部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造第一課の〇〇係長と〇〇主任をB製造に派遣し、技術指導にあたらせる</li> <li>・製品Xの全ての材料の仕入れ元に連絡し、B製造に納入するよう依頼する</li> </ul> <p>③A社以外の顧客を営業部部員が訪問し、被災状況、供給再開目安を連絡（定期的に）【営業部】</p> <p>II. 工場および設備の復旧</p> <p>①〇〇工務店、〇〇設備工業に協力依頼【製造部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇社長、製造部〇〇部長を中心に復旧方針・計画を策定</li> <li>・出社可能な製造部員全員で復旧に努める</li> </ul> <p>②敷地内に仮事務所（プレハブ）を設営【総務部】</p> <p>③被災状況を取引金融機関に報告し資金調達に関し相談【総務部】</p> <p>④保険契約がある場合には保険会社に連絡【総務部】</p> <p>III. 従業員のケア</p> <p>①被災状況・出社可否をヒアリング【人事課】</p> <p>②従業員・家族の健康（メンタル含む）をフォローし必要に応じて支援実施【人事課】</p>			

- 「対応戦略」には、優先事業を目標復旧時間内で復旧させるための大きな方針を記入します。製造業においては、甚大な被害を受けたことにより工場の復旧に数か月を要するような事態となった場合には、代替生産も考えておく必要があります。そのため、日ごろから商圏の重ならない同業者と協力しあうことを話し合っておくことが重要です。
- 「資源の脆弱性（ボトルネック）」には、対応上特に障害となる課題や懸念事項を記入します。
- 「対応手順」は、出来るだけ具体的に記入することが望ましいです。記入例を参考にして、組織別、役割別に5W1Hを考え検討していくとイメージしやすくなります。製造業においては、被害状況に応じて用意しておいた戦略を選択して決定し、実行に移していくプロセスを記入しておきましょう。記入した手順については、その実効性について顧客や取引先を含む社内外の関係者と確認することが重要です。

## 6. 資金調達

・「(A) 経営維持費用」は、日常的に発生する費用で大地震発生時でも変わらず支払いが必要な費用、「(B) 災害復旧費」は、大地震発生時、復旧等のために特別に必要な費用です。

(A) と (B) から大地震発生時に必要となる資金の最大金額を予想します（記入例では3ヵ月分）。

・「(C) 利用可能な手元資金（現在の現預金）」には、現在制限なく利用できる現預金の合計、「(D) 回収可能な売掛金」には、大地震が発生しても回収が

可能と想定できる（財務面で盤石な顧客や離れた場所に立地するため自社と同時に被災しにくい顧客に対する売掛金等）の金額を記入します。その他に調達可能な資金を (E)、(F) に記入し、(C) ~ (F) の合計で調達可能な資金の最大金額の予想をします。

必要な資金	概要	予想資金（1ヵ月）
(A) 経営維持費用	従業員への給与の支払い	2,000 万円
	買掛金の支払い	2,000 万円
	金融機関からの借入金の返済	4,500 万円
	その他	200 万円
(B) 災害復旧費	被災建物・設備の復旧	2,000 万円
	その他	100 万円

調達可能な資金	概要	予想資金（1ヵ月）
(C) 利用可能な手元資金（現在の現預金）		3,000 万円
(D) 回収可能な売掛金		4,000 万円
(E) 船橋市中小企業融資制度	災害復旧資金を想定	1,000 万円
(F) 地震保険	〇〇損害保険会社の地震保険	最大5,000 万円
必要な資金	(A) + (B)	10,800 万円
調達可能な資金	(C) + (D) + (E) (F)	13,000 万円

## 7. 事前準備

・「5. 対応手順」に書かれた計画を実行するために必要な事前準備を記入します。

・事前準備が出来ている場合には、「チェック」欄に✓をつけ、出来ていない場合には、対応の期限を設定し記入します。記入欄はありませんが、実施する責任部門も明確にしておきましょう。

・事前準備には、施設・設備・備品等のハード面の改善・強化だけでなく、商品仕入先との連絡や代替調達先の確保、店舗間の店員の勤務場所変更の準備等のソフト面も含めて検討してください。

(1)耐震対策状況	チェック	できていない場合
建物が耐震基準を満たしているか確認	✓	20 年 月 末 までに対応する
各種機械・設備の固定化	✓	20 年 月 末 までに対応する
		20 年 月 末 までに対応する
		20 年 月 末 までに対応する

  

(2)大地震発生直後	チェック	できていない場合
救助・応急処置道具の整備	✓	20 年 月 末 までに対応する
避難ルートマップの作製		20××年×月 末 までに対応する
社内連絡網の整備		20××年×月 末 までに対応する
		20 年 月 末 までに対応する

  

(3)初動対応フェーズ	チェック	できていない場合
「顧客リスト」の整備（最新版に更新）		20××年×月 末 までに対応する
「調達先等リスト」の整備（最新版に更新）		20××年×月 末 までに対応する
備蓄品の整備（在庫の量及び賞味期限切れがないか確認）		20××年×月 末 までに対応する
インフラ供給の確保の準備（電気、ガス、重油、水の確保が可能か）		20××年×月 末 までに対応する

  

(4)事業継続フェーズ	チェック	できていない場合
A社と災害時対応について確認（A社の在庫状況等）		20××年×月 末 までに対応する
B製造と代替生産に関わる手順等確認		20××年×月 末 までに対応する
C化学から仕入れている材料Yの代替調達先を見つける		20××年×月 末 までに対応する
〇〇損害保険の地震保険を契約		20××年×月 末 までに対応する